

ただ今から本定例会における一般質問を行います。

本日のテーマは、大きく分けて2つです。

まず最初に、12月4日に行われた村長選挙において、村長は、わずか13票という文字通り僅差で再選されました。年末より始まる2期目に向けた政治姿勢について数点伺いたいと思います。

村長は、本定例会初日の所信表明で「私は、これまで基本的な姿勢として「融和」をもって村政を推進してまいりました」と述べられました。また、選挙中のチラシにも「融和」と「団結」と書かれていました。

思い起こせば『「融和」と「団結」』のスローガンは、4年前の村長選直前に、私があなたに託した政治目標でした。それまでの村の派閥的対立や萎縮した「しがらみ」の政治風土を超えて、6000名の村民が一致団結して未来に向けた村づくりの先頭に立ってほしいと願いを込め提案し、それに向けて実行してくれるものと信じて4年間を見つめてきました。

このたびの選挙では、あなたと直前に話し合ったように、これまでの4年間は期待はずれであったことを告げ、結果的に村政改革を目指す候補を支持しました。僅差とはいえ村民・有権者の審判を真摯に受け止め、議会初日の会議終了後、村民代表の議員の一人として議員バッチをつけたまま表敬訪問に伺いました。

しかし、あなたは慔然とした態度で、私の2度にわたる当選の祝福と今後の村政へのエールを込めて握手を求めたのに対し、2度ともそれを拒否し、無言で背を向け村長室に入って行きました。

その後ろ姿を見ながら、あなたが「基本姿勢」とする『融和』とは、一体どのような内容なのか、具体的にお聞きしたいと思います。

ちなみに「融和」を字引で調べると「うちとけて仲よくすること」と書いてあります。言うまでもなく、考え方や立場の異なる者同士が、うちとけ、許しあい、仲よくすることであるはずです。

また、先の選挙結果からわかることは、88%の投票率で、あなたに投票したのは、50.1%であり、49.9%は4年間の村政に批判票を投じたこととなります。当選の決定は1票でも多いほうですが、内容を分析すると、ほぼ半数は批判票を投じていることになり、このことをどのように認識するかによって、今後の4年間が見えてきます。あなたに投票しなかった49.9%の村民に対し、私に対したように見向きもせず手も差し伸べないなとすれば、村長としての資質が問われるはずです。

また、あなたは、今次の選挙を「4年間の行政の信任を問うものだ」と位置付けていました。結果はどうでしょうか？有権者の88%の投票で、50.1%の獲得票は、全有権者の44%ということであり、半数以上はあなたの政治姿勢や政策を評価していないことができます。村長選の最中も多くの村民からの意見を聞かれたと思いますが、この結果から、今までの政治姿勢および政策の見直しや再検討も必要だと思いますが、村長の率直な見解

を伺います。

第2の質問に入りますが、昨年7月から3期目の議員活動となり、各定例議会において一般質問を行っています。内容は、議員の役割である行政監視の厳しい追及と同時に、村民目線で提案型の質問を多く行ってきました。

集計してみると14項目の質問や提案を行い、提案した案件についてはほとんど前向きな回答をいただき、昨年9月に提案した「障害者優先調達推進法」については、即刻対応して頂き、関係方面からも感謝されました。

そのた、以下にあげる項目は、村民の福祉と山中湖村の新しい方向を展望するものとして、本会議場で村長から前向きな回答をいただいたものです。

12月は、来年度の予算づけ等の時期であり、提案した各項目の進捗状況や来年度に向けた方針や見通しをお伺いします。

- ・ 防災行政について
- ・ 「里山庭園」構想について
- ・ 保護犬・迷い犬対策について
- ・ 村民の健康管理と「健康立村」構想について
- ・ 交通弱者への助け合い対策について
- ・ 小中学生の「里山留学制度」について
- ・ 入札制度改革について

今後事業や政策の実現過程で、提案した責任からも全面的に応援・協力する覚悟でありますので、村民に喜ばれ評価される結果を出されますよう希望いたします。